

愚図愚図散歩144 日日是好日127

2025.08.01.

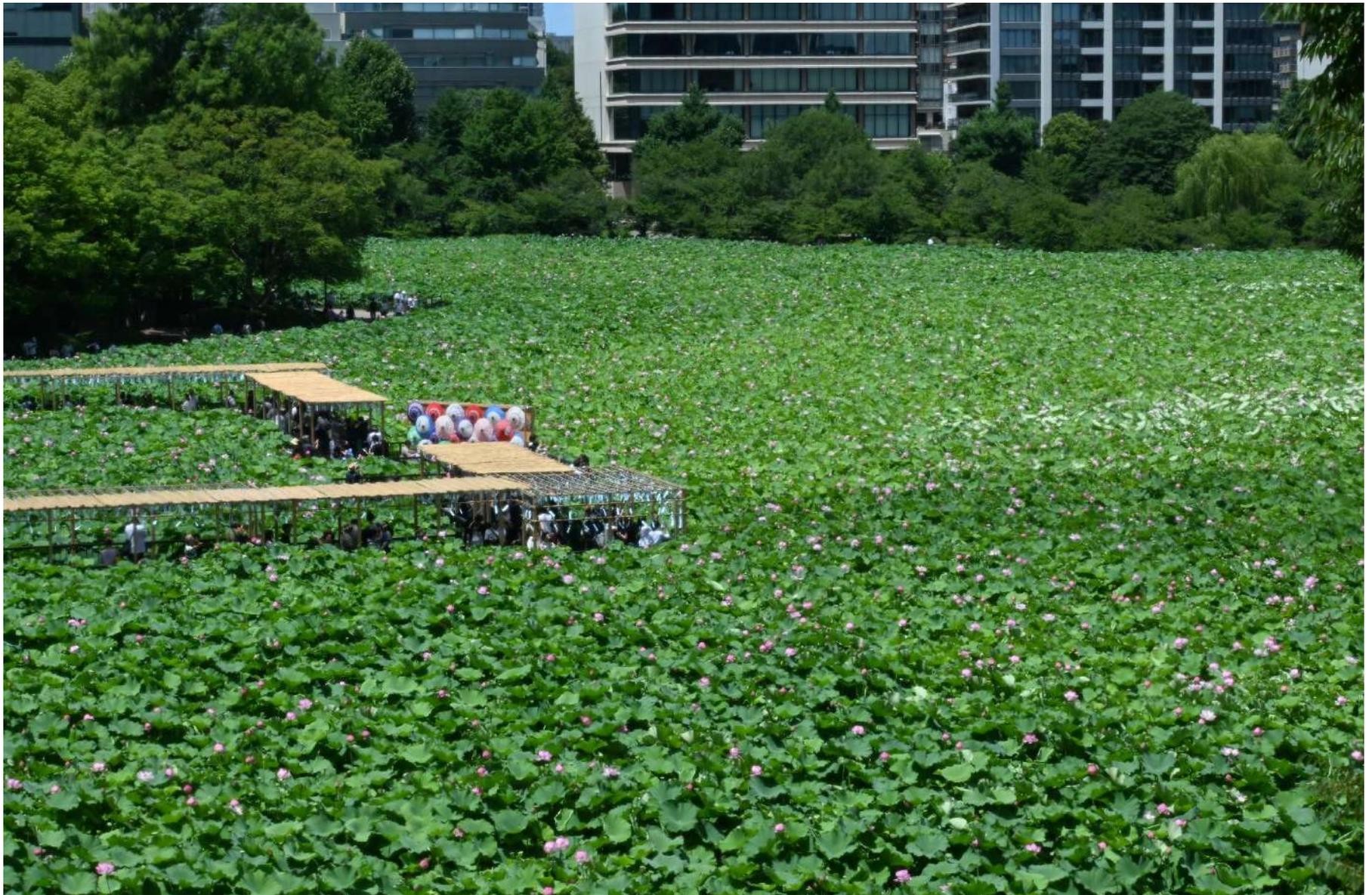


制作・撮影 浦野俊之



弁天堂を背景に満開の蓮の花が美しい。





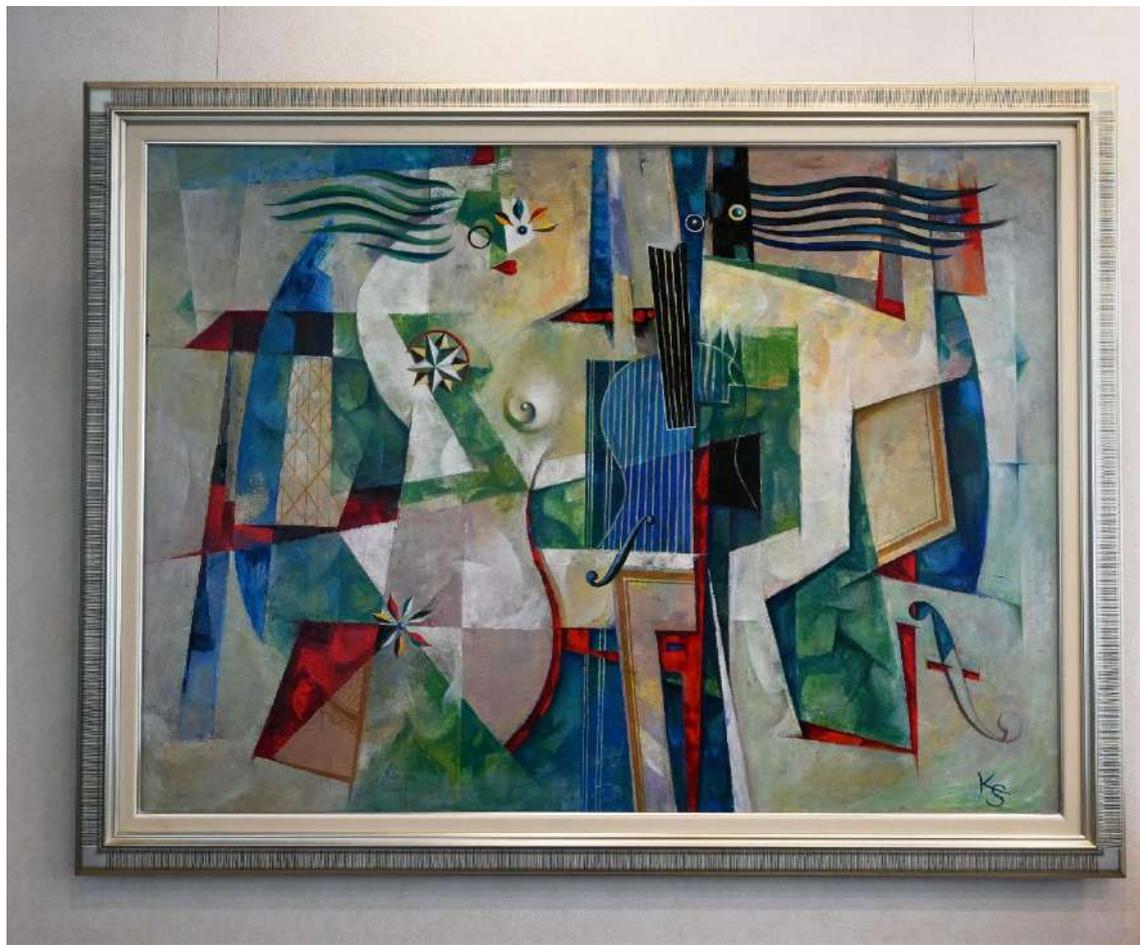
『園内には「蓮見デッキ」と呼ばれる浮棧橋が設置されており、池の中心近くまで足を伸ばして鑑賞できます。背景には弁天堂や不忍通りの石橋が配され、古刹の佇まいと相まって、まるで絵画のような風景が広がります。デッキ沿いに風鈴が並べられ夏の音を感じることができ、また出店も多数出店し夏祭りが連日開催されます。コピペ』一面蓮の花咲く不忍池。



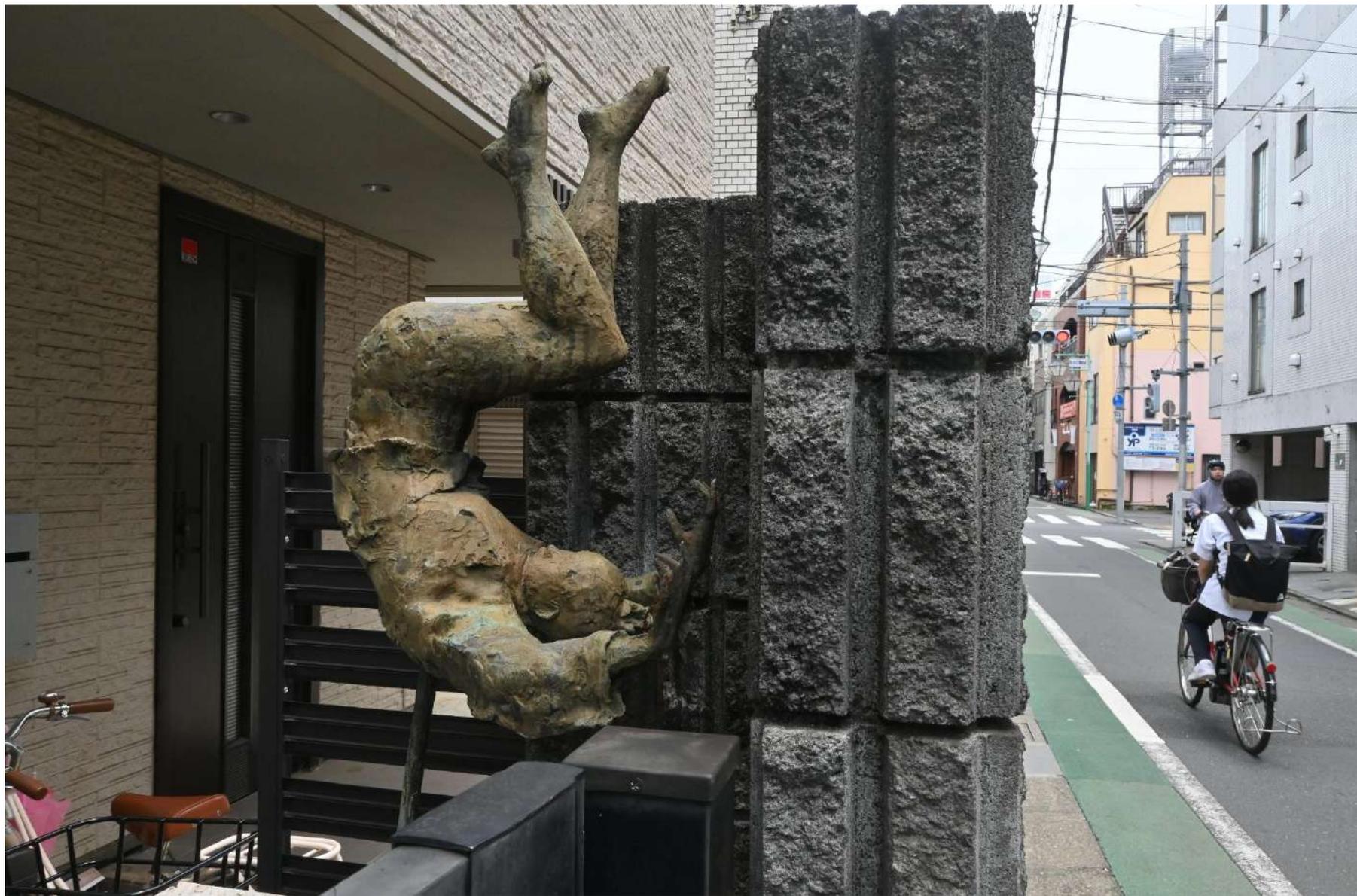
鑄物の街の鑄物工場の社長 長谷川善一 制作の鑄物で創った「進めくろがね号」堂々とした作品ですが、子供は公園の遊具と思い、登ったりゆすったりするのでしょう。赤い字で、あぶない！のぼらない！ゆすらない！と張り紙に書いて張ってありました。(川口市金山町12-1)



フト、ガラス張りの室内を覗くと、何とも魅力的な楽器が花と共に飾られています。思わず木原クリニックと書かれたドアを押して、病人ではありませんが壁に飾ってある楽器を撮らせて下さいと看護師の方をお願いして待合室に入り込みました。初めて観るポルトガルギターです。どのような音色なのか心踊らせながらシャッターを切りました。



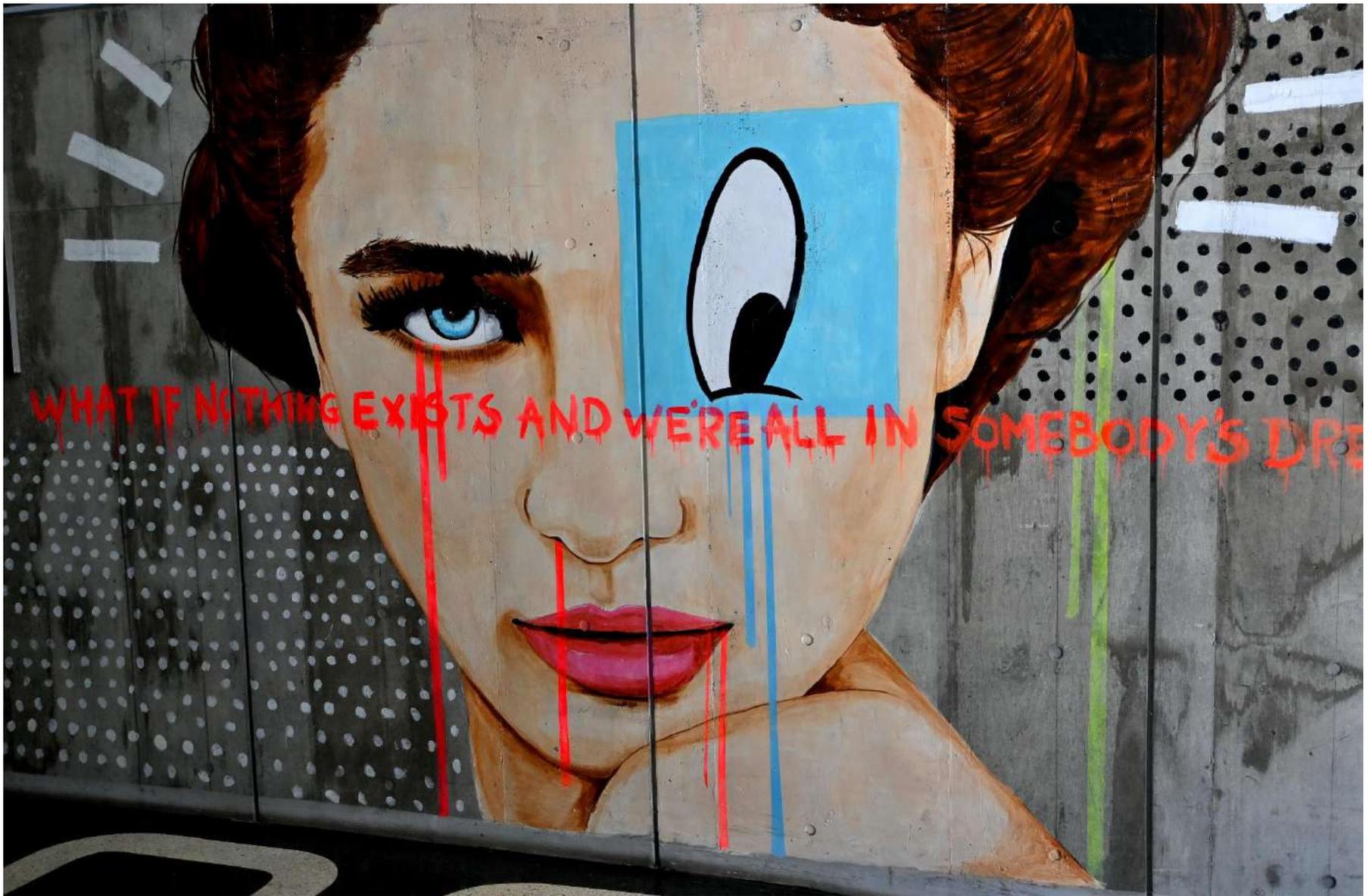
他にもマルセリーノ・ロペス作 バロックギターや写真左のヴィオラダガンバは佐藤一也作で右の絵も同じ佐藤一也作の絵画、楽器製作と絵画制作両刀の驚くべき芸術家による作品が飾られていました。院長先生のご趣味だそうですが、驚きながら、喜びいっぱい、楽しいひと時を過ごしました。他にもヴィウエラの展示があり、一度病気になって来てみようかと思いました。
(中央区日本橋堀留町2-8-5)



何故か石塀の内に置かれていた青銅の彫刻、置く場所に困っての場所なのか少し異様です。(練馬区桜台4-11-2)



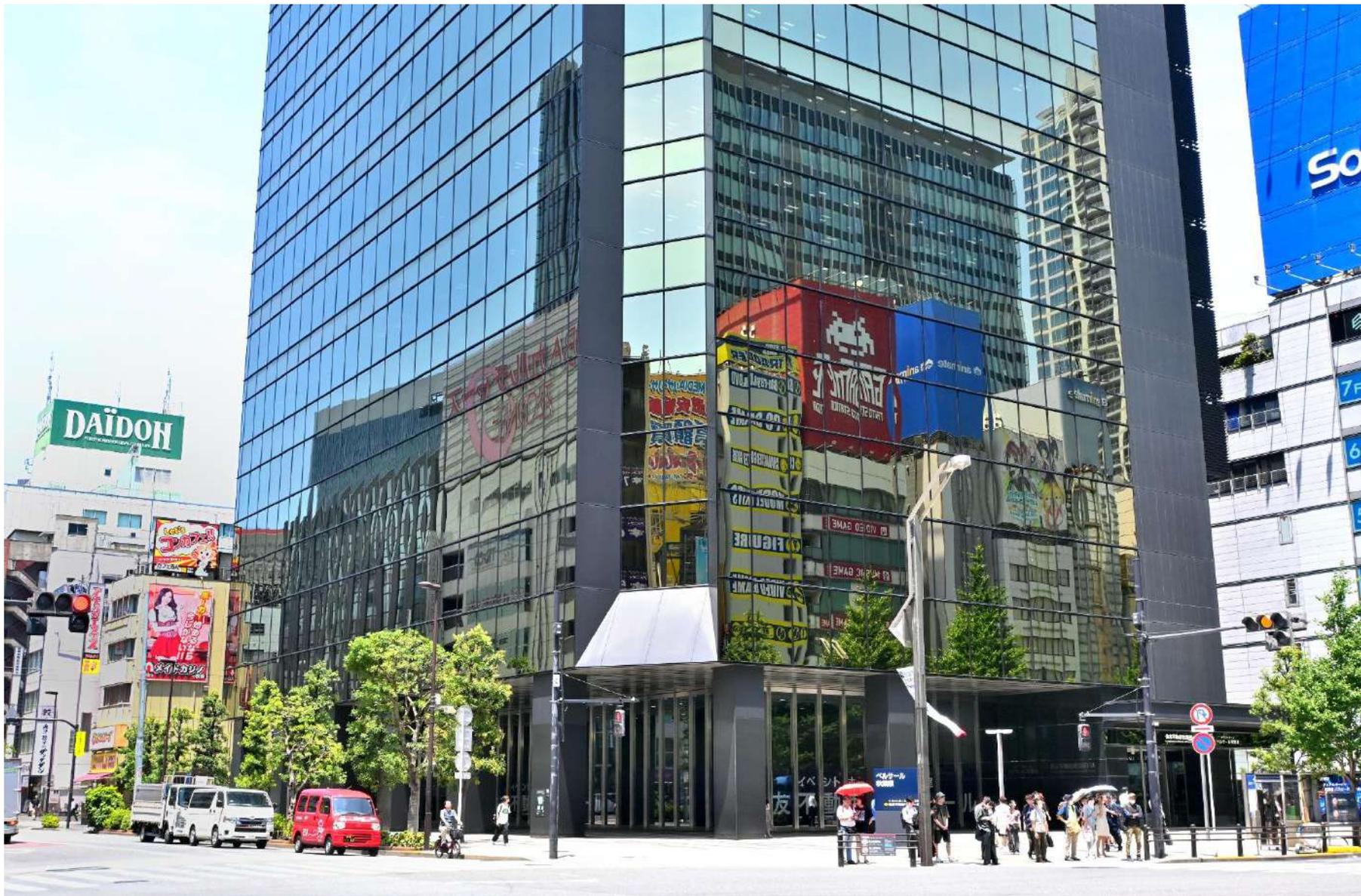
正式名称はGUNKAN東新宿ビルです。「異端の建築家」として日本の建築史に名を残す 渡邊洋治氏によって、この建物は設計されました。シルバーに塗られた躯体、横起きされた給水塔、ユニットに分かれた客室など、「軍艦」をモチーフとしたデザインが随所に施され、俗に軍艦マンションと呼ばれています。コピペ（新宿区大久保1-1-10）



その軍艦マンションの入り口の壁に描かれたイラスト、落書きだと思い撮影しましたが、非常にインパクトのある表現です。『1970年竣工 2011年オーナーが替わりリノベーション 現在はほぼすべてのテナントが出て行って空きビル 2024年解体予定 コピペ』だったようですが、そんな関係で落書きされたのでしょうか。これからどうなるのでしょうか…。



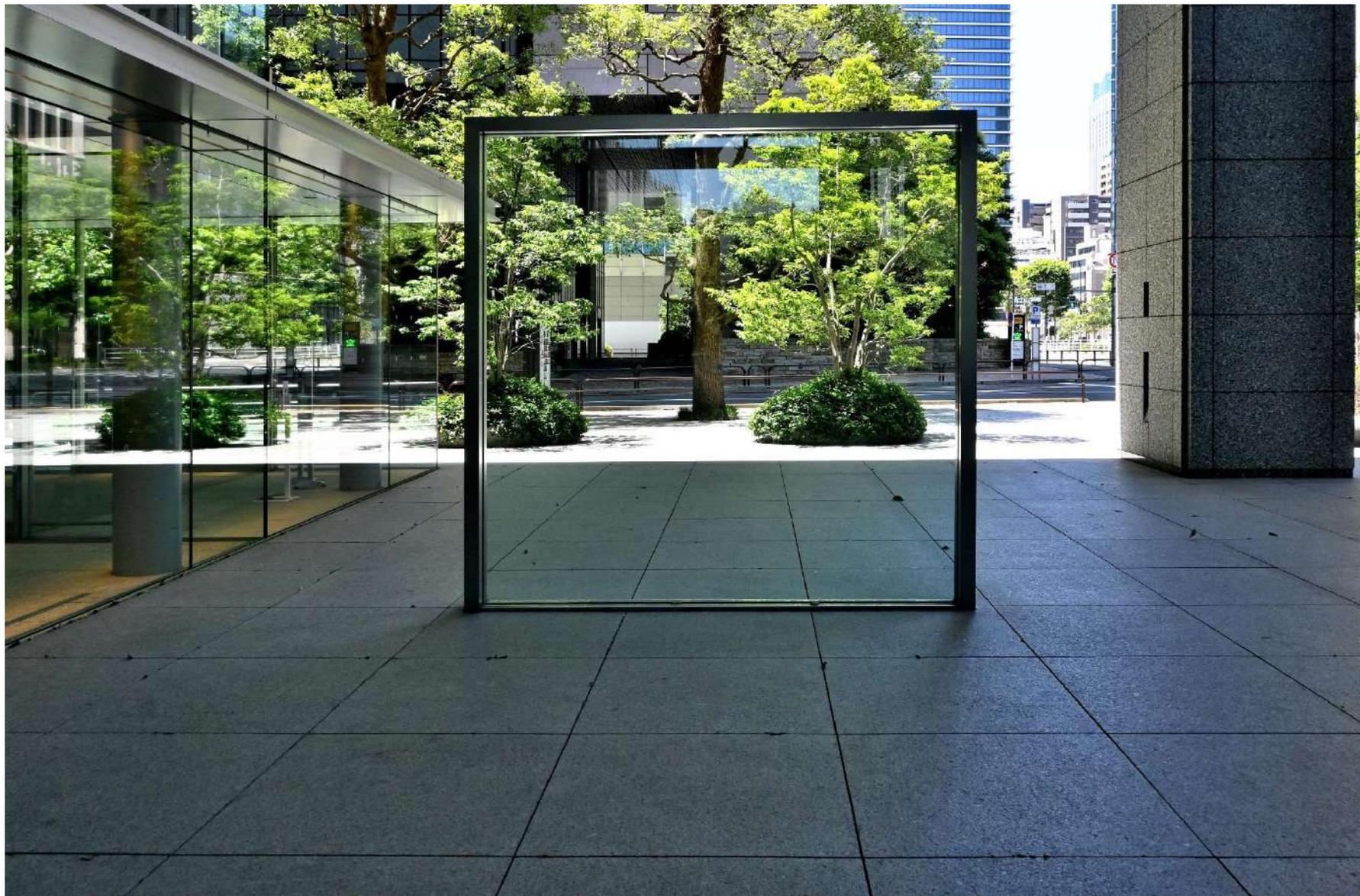
巢鴨の竹林で、竹の子が竹皮が付いて成長し、皮が白く変色した姿が不思議な光景で、これだけはっきりと成長が解る姿を見るのは初めてです。(豊島区巢鴨2-8)



「秋葉原駅」徒歩3分、メインストリートの交差点に面するイベントスペース&ホール。全面ガラスに映り込む街の状況。対面の歩道を歩くと、映るビルも刻々と変化し、これだけの大きなスペースの映り込みは都内では唯一かもしれません。
(住友不動産ベルサール秋葉原 千代田区外神田3-12-8)



ウインドーを見て歩くと、ゲームと、アニメキャラクターが沢山、これだけ多数のアニメショップが繁盛しているのは購買層がしっかりとしている証拠で、若い人が毎日訪れるのでしょう。ただただ驚きます。



広い空間に鉄枠のガラス、建築家の素晴らしい感性。空間が狭まります。



白い葉の様に見える萼(ガク)と星型の黄色い花の名は、崑崙花(コンロンカ)色鮮やかで綺麗ですね。この様に綺麗な萼の花は他にあるのだろうか?と思い調べますと・・・。



驚いたことにアジサイの花弁状に見えるところは萼です。(コピペ) 花だと思って居た花弁は萼で、萼の中心にある小さな丸い処が花だそうです。



珍しいサボテンに出会えたと喜びながら撮影しました。待てよ少し変だと、花びらを触ると、布を丸めて被せた感触でした。



少し不気味なドア取っ手ですが、調べてみると、株式会社トーマネ本社のドア取っ手で、創業昭和9年マネキン人形を制作する会社だと知りました。本社のドアですから当然と言えば当然の取っ手です。(中央区銀座1-11-1)



自撮り。



銀座の脇道にそれとなく目立ち気味に駐車されたクラシックカー。カッコ！（中央区銀座1-11-1）



第一生命ロビーで、「自由だ-----！！～多様な幸せと希望に満ちた世界へ～」展を観ました。40歳以下の作家を奨励する展覧会で、興味深い作品が展示されていますが、とてもシュールで不気味な作品「石田徹也作 搜索/前線」が特に心に残りました。なぜこのように描き、何を表現したいのかは不明ですが、描写力がありますね。(千代田区有楽町1-13-1)



2023.7.28火災で焼失した「梅の湯」のあった場所です。網で囲われた外に、布袋様、と観音様が置かれています。まるで路頭に迷うお姿のようですし、土地を守っているようでもあります、台座がありません。なぜここに祀られているのでしょうか。(板橋区仲宿22-6)



独特の外観を誇るHERMESのショーウインドの立体イラスト見るだけで楽しい。写真で見ると平面ですが、実際は立体で爽やかな色彩と筆致が心を癒し、ウインドショッピングの楽しみが増幅されます。(中央区銀座5-4-1)



視る角度により壁面の映り込みが変化し、他の建築では類を見ない感動があり、銀座に来た実感が湧きます。



真夏にマンモスのような白象に黒い毛皮をまとってリックを背負った男の集団が行列を作っています。不気味で不思議な冷え冷えとしたコーナーです。(ギンザコマツ 西館 中央区銀座6-9-5)



金魚の尾ひれのような派手な花びらに囲まれたマネキン、銀座通りが映り込むウインドが美しく、派手で賑やかに盛り上げています。(FENDI 銀座6-10 GSIX)



銀座は良く訪れるのですが、今日初めて「銀座人形館」を知りました。2Fのお店のドアをためらいなく開けて、中に入り思わずオーすごい！と声を発してしまいました。お店にお願いし一体¥10000000もするアンティークドールのいるコーナーは許しが出ず、外して撮影させてもらいました。『銀座人形館ANGEL DOLLSでは、ブリュ、ジュモーに代表される世界最高レベルのアンティークドールを多数、常時展示販売いたしております。コピペ』(中央区銀座7-9-16)



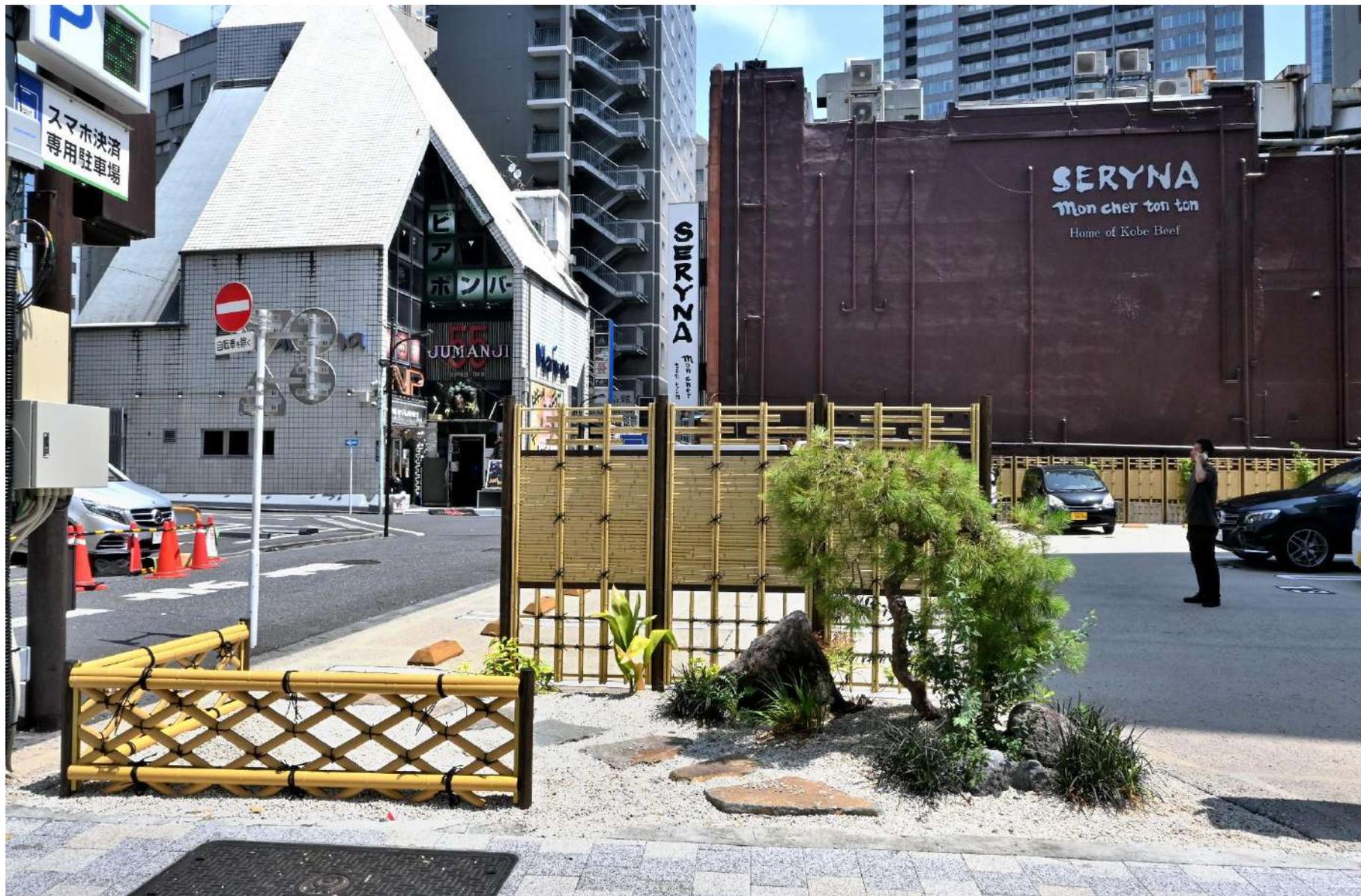
暑い日が続きます。ここ東京国立博物館ではまさに、『寄らば大樹の陰』通りの現象が生じていました。



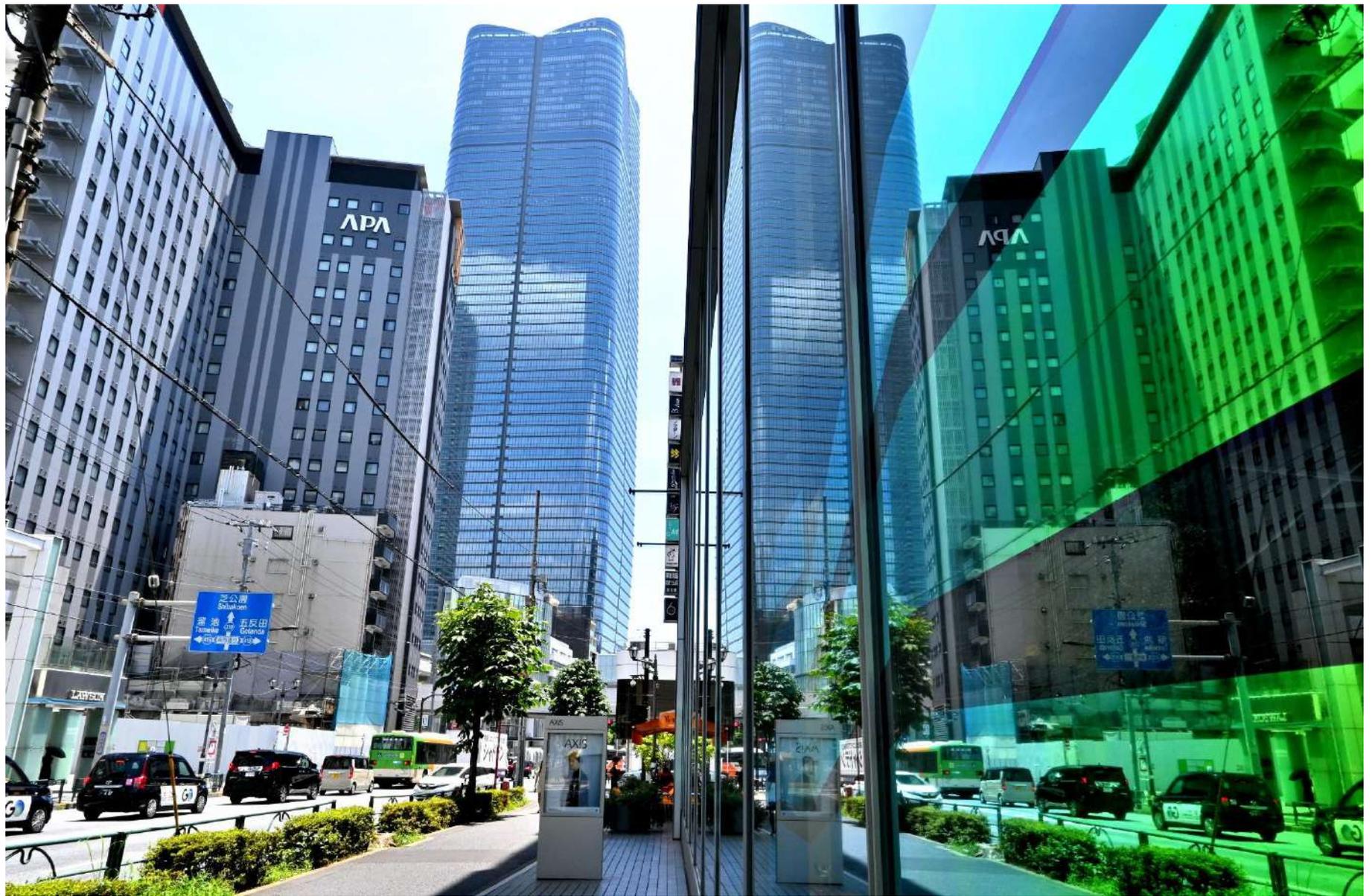
日焼けも良いが、熱中症大丈夫・・・？



多面鏡の様な……虎ノ門ヒルズ。



六本木の表通り、その一角にご覧の日本庭園風の駐車場がありました。



都会の風景。



東京タワー 赤羽橋から。



東京タワー、芝公園から。



赤羽靈園



芝公園では屋台湾フェスが開催されていました。台湾屋台グルメや台湾出身のアーティストによるステージが開かれている様で、入り口の大きな龍の作り物に驚きました。



先祖をお迎えするお盆の光景を久しぶりに見ました。



秋の七草かと思って居ましたが、まだ7月の中旬なのに花の姿が女性を圧倒すると言われていたオミナエシの花に酔いしれました。(都市農業公園 足立区鹿浜2-44-1)



都内で一番？
派手なトイレの壁面。(赤塚公園)



太陽の様に輝くヒマワリの花